

患者さまへ

「湘南藤沢徳洲会病院における大腿骨頸部骨折患者の治療方針の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合は、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2017年4月～2021年7月に当院で治療した大腿骨頸部骨折の中でも骨折観血的手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

大腿骨頸部骨折に対する骨折観血的手術に使用する固定材料として、ハンソンピン、Sliding hip screw, Gamma3 U-lag screw(当院では、2017年4月から2020年3月まではハンソンピン、Sliding hip screwとしてPrima hip screwを用い、2020年4月から2021年7月までGamma3 U-lag screwを用いて治療を行なった。)のいずれがより有用でかつ安全であるかを明らかにすることです。

研究実施期間：施設院長承認後 ～ 2022年12月

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、使用した内固定材、入院期間、スライディング量（術後に生じる滑り）、Garden分類（骨折型の分類）、追加手術を要した合併症等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

橋本拓（研究責任者）

湘南藤沢徳洲会病院 整形外科・医長

住所：神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1

連絡先：0466-35-1177

(2022年7月28日作成 (第1.1版))